

皆様の声を市政に！

ヤル気！
元気！
鈴木！

鈴木

たかひで

Vol.33



秋の声が聞こえる美しい季節となりました。皆様には日頃の諸活動に対してご支援を賜り、お礼を申し上げます。

さて、9月議会では高校生世代の通院に係る医療費の助成や、中心市街地における公共交通での自動運転実証の実施など、重要議案が多くありました。会派、また私個人としてもこれまで導入に向け取り組んできた内容でもあり、今後の更なるステップアップをめざし実施状況を注視して参ります。

今後も皆様のご意見を伺いながら、未来志向の明るいまちづくりに取り組みます。寒さに向かう季節です。皆様におかれましてはくれぐれもお体にお気をつけてお過ごしください。

活動報告1

政策要望の提出

令和6年度に向けた政策要望を市長に提出しました！

会派「市民フォーラム」として令和6年度に向けた政策要望を市長に提出しました。私は政策にまつわる立案・審議をおこなう政策審議会のメンバーとして中心的に参画しました。特に教育社会所管を担当し、子育て・教育や文化・スポーツに関する内容を主に提案しました。今後は一般質問などを通じて継続したフォローを行って参ります。下に内容の一部を紹介します。



不登校の自立支援

増加する児童生徒の居場所の確保としてオンラインでの授業や相談対応の確立を要望しました。他県で実施している先進事例を具体的に示し、実施に向け要望しました。今後は、市内小中学校での導入に向けた調査を行うと回答を受けています。

年度途中の待機児童対策

豊田市内で年度当初の待機児童は発生していませんが、年度途中では待機児童が発生しています。また希望する園に通えず、通園をあきらめるといった隠れ待機児童への対応を求めました。今後、保育の受け入れ枠の拡大を進めていきます。

WRCの継続開催

ラリーを活かしたまちづくりとして、令和8年度以降も豊田市でWRCが開催できるように、来年度より大会を誘致する活動を開始するよう求めました。



上のQRコードで全ての要望内容が確認できます。

活動報告2

活動写真の紹介

直近の活動を写真で報告します！



アンモニアと石炭との混焼を進める碧南火力発電所のカーボンニュートラルに向けた取り組みを、仲間と共に視察させていただきました。



毎年恒例の豊田警察の幹部の皆様と情報・意見交換会。お互いの要望や意見、現状認識を伝え有意義な会となりました。



夏休みを終え学校に戻ってくる子供たちのため、校庭の草刈りボランティアや川沿いの竹切ボランティアなど、精力的に参加しました。

9月定例議会への取り組み（発言した質問・意見など）

通院費の助成

令和5年度補正予算

高校生世代の医療費助成対象を拡大します！

これまで入院医療のみだった助成を拡大し、通院医療の自己負担分も助成対象となります。

<現行>

	受給資格者・助成対象
高校生世代	16歳になる年度から18歳になる年度末までの者の入院医療に係る医療保険自己負担額

<改正後> 令和6年4月から

	受給資格者・助成対象
高校生世代	16歳になる年度から18歳になる年度末までの者の入院・ 通院 医療に係る医療保険自己負担額

賛成意見

中学卒業後の経済的な負担で受診控えを防ぎ、病気の早期治療による子どもの健全育成につながるものとして賛成！



予防接種の助成

令和5年度補正予算

インフルエンザ予防接種の助成をします！

子ども・若者世代を対象としたインフルエンザ予防接種を実施します。

対象者	平成20年4月2日～平成21年4月1日生まれの子（中学3年生） 平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれの子（高校3年生等）
ワクチン	インフルエンザワクチン
助成回数	1回
助成金額	対象者が医療機関に支払った接種費用を助成（上限5,000円） R5.10.1～R6.1.31までに接種したものに限り
助成方法	償還払い（窓口、郵送による申請を想定）
申請期限	令和6年2月末

賛成意見

進学や就職など、人生の大切な節目を迎える世代に対しての配慮として賛同できる。特に今年度は子どもを中心に様々な感染症が報告されており、一層の感染予防が必要となっている。こうした状況の中、今回の助成を通じてインフルエンザの発症や重症化の予防が推進され、安心して人生の次のステップに挑戦できる一助となることを期待して賛成！



自動運転の実証

議案審査

公共バス路線で自動運転の実証を実施します！

自動運転による公共交通の拡大をめざし、豊田市駅～福祉センターの既存の路線に増便する方法で、実証実験を行います。

運行内容	運行期間・運行日数
運行ルート	豊田市駅～福祉センター
一般運行	11月26日～12月28日 計33日
運行本数	6便/日（既存便に追加する形で無料で運行）
自動運転	レベル2（緊急時は手動走行）
定員/速度	乗客15名（着席） 速度 30～40km/h

賛成意見

自動運転の実現は、交通事故の減少や高齢者の移動支援など、社会課題の解決に寄与するものと捉えている。今回、交通需要が高く難易度の高い都市部の公共交通での自動運転実証を通じて、実装に向けた整備が進み、山間部など市内各地で展開されることで、市民の移動支援に貢献することを期待して賛成！



暮らしの相談

白線引き直し（矢並町）

住宅団地内の白線が薄れており、止まれ標識などが認識できないとのこと依頼を受け、団地内を全体的に修繕しました！

お気軽にご相談ください！

